

第25回(通算143回) 全経簿記検定試験 上級出題予想

商業簿記・会計学

科 目		第 1 予 想	第 2 予 想	第 3 予 想
商業簿記		損益勘定・残高勘定	貸借対照表	連結会計
会 計 学	第1問	(1)正誤問題	(1)正誤問題	(1)正誤問題
	第2問	(2)退職給付会計	(2)連結会計	(2)企業会計原則
	第3問	(3)税効果会計	(3)金融商品	(3)資本会計

なぜこう予想したのか

「第1予想]

商業簿記は 134 回から前回まで 6 回連続して出題されている決算三勘定関係が今回も続くと思われ、損益勘定・残高勘定を挙げました。

会計学は、新会計基準から過去に理論の大きな問題として出題されていない退職給付会計と税効果会計です。税効果会計については過去の計算問題をやっておけば対応できます。また、理論問題では、過去に出題された問題が繰り返し出題されることが多いので過去の問題を必ず見ておきましょう。

【第2予想】

商業簿記は、貸借対照表で資本の部の表示が要注意です。前回は商業簿記で新株予約権付社債、 法定準備金の取り崩し、前々回は会計学で資本の部の表示と商法改正や新会計基準に関わるものが 出ていることから、今回も出題可能性は高いと思われます。

会計学は連結会計と金融商品です。連結会計については理論問題、金融商品は理論でも問いやすい論点ですので、計算をイメージしながら基準に目を通すとよいでしょう。

【第3予想】

商業簿記は、頻出ではありませんが、ある程度の回数をおいて出ている連結会計を挙げました。 連結が出題された場合、点数差が出やすいので、特に苦手な方は注意しておきましょう。

会計学は企業会計原則と資本会計です。企業会計原則では一般原則や費用収益対応の原則、実現 主義などを押さえておきましょう。資本会計は前々回に計算問題として出題されているため、今回 は理論問題が予想されます。理論問題については剰余金の概念や自己株式の処分とその表示に注意 が必要です。



第 25 回(第 143 回) 全経簿記検定試験

上級出題予想

工業簿記・原価計算

科目	第 1 予 想	第 2 予 想	第 3 予 想
工業簿記	工程別総合原価計算	直接原価計算	単純総合原価計算
	標準原価計算	事業部制	C V P分析 + 取替投資
原価計算		+ 差額原価収益分析	

なぜこう予想したのか

[第1予想]

工業簿記は工程別総合原価計算、原価計算は標準原価計算としました。

工程別総合原価計算は、個別原価計算とほぼ同じ頻度で出題されており、前回個別原価計算からの 出題であったことと出題実績を踏まえ第1予想としました。また標準原価計算は工業簿記でも原価 計算でも出題されていますが、論点の重要性と前々回工業簿記で出題されていることから第1予想 としました。

[第2予想]

工業簿記は直接原価計算、原価計算は事業部制と差額原価収益分析の複合問題としました。 直接原価計算は、第7回以降出題はありませんが、重要な論点であるため第2予想としました。事 業部制と差額原価収益分析の複合問題は、前回小問を組み合わせた複合問題が出題されており、仮 に今回も複合問題であるならば・・・ということで第2予想としました。

[第3予想]

工業簿記は単純総合原価計算、原価計算はCVP分析と取替投資としました。

単純総合原価計算は、最近6回出題のない、費目別計算を中心にした出題に注意が必要と判断しました。CVP分析と取替投資はCVP分析の出題頻度の高さと設備投資意思決定の重要性から第3予想としました。